

# あだたら

第409号

発行所 久米郡山部町  
山部町山部  
あだたら編集

十二月十二日 (土)

## 十一月山行、笠ヶ森山

報告 □□□



笠ヶ森山頂、11時37分、シャッター押して貰った

笠ヶ森山は中通りの岩瀬村と会津の湖南町中野を結ぶ鶏峠と諏訪峠の間にあり、標高一〇二二メートル、県道六十七号線に登山口がある。二本松市役所 七時三十分

●編集部連絡先  
二本松市邦内1-5-15  
0243(22) 4246  
Fax可 渡辺 正

んが先を行く。郡山市内の渋滞を避けて、杉田から会津街道に入り、奥州山地に平行して南下する県道二十九号、長沼喜久田線を目指す。二十九号線に乗って、逢瀬公園でトイレ休憩。みちのくペット公園を過ぎて、ローレルバレイカントリークラブで右折、県道六十七号、中野須賀川線に入る。ゴルフ場入口を過ぎて道の一番奥に笠ヶ森山が見えて来た。道はやがて金喰川に沿った樹林帯に入る。下の「登山道出口」に駐車して、九時十二分記念撮影して登山開始。すぐの所で沢に降りる道と沢沿いの道の分岐があったが、ピンクテープ誘導で、沢に沿って登る。二十一分アルミの足場板二枚並べた橋を渡る。川の名前は「金喰川」、(国土地理院地図による)。後はひたすら針葉樹林の登山道を上る。高度を上げるとブナ林となり、十時八分巨大ブナの脇を通過。足元にはつやつやとした丸い葉の植物が群生、赤い実のような物も見えたが、未だ正体不明。道はやがて稜線の下をトラバース気味に沢を二、三箇所渡る。少し広くなって、四十五分、「登山道



9時12分、「出口」から登山開始

「二岐山」そっくりの、入口」からの道と合流した。立派な道標などは立っておらず、プラスチックでコーティングしたA4用紙二枚による道標だ。「合流点」だが、登山道入口から来た人向けだ。場所は確認出来るが、ここからは鶏峠への登りとなる。やがてあたりは笹原となる。ピンクのテープだけが頼りだ。十一時三分、峠の頂上あたりで「にわとり峠」と書いた看板と「鶏峠の名の由来」の看板を発見。帰宅してから、ヤマレコの「らくルート」の「にわとり峠」で設置されたばかりの看板の鮮明な写真を見付けた。

ここから北に一寸降りて、登りが始まる。急傾斜で、途中に休めるような段差もない。木の根板で岩も出てくる。昨年の十月山行「二岐山」そっくりの、入口」からの道と合流した。立派な道標などは立っておらず、プラスチックでコーティングしたA4用紙二枚による道標だ。「合流点」だが、登山道入口から来た人向けだ。場所は確認出来るが、ここからは鶏峠への登りとなる。やがてあたりは笹原となる。ピンクのテープだけが頼りだ。十一時三分、峠の頂上あたりで「にわとり峠」と書いた看板と「鶏峠の名の由来」の看板を発見。帰宅してから、ヤマレコの「らくルート」の「にわとり峠」で設置されたばかりの看板の鮮明な写真を見付けた。

もう片側の反射板への途中に三角点があると言うが見つからなかった。ウツボグサが一輪咲いていた。十一時三十七分、居合わせた人にシャッター押しして頂いて山頂で記念撮影。昼食後、十二時二十三分下山開始。急坂下って、四十八分に鶏峠。五十五分に、入口出口の「合流点」。ここからは

「入口」に向かう。此方の道、幅広く傾斜も緩い。正に「街道」そのものだ。登るのも楽だろうと思われ。荷をつけた牛馬も登れたら。此方が峠への本来の道だったのだろう。登山道入口も納得できる。やがて 広いところに出て、道の両側平になって、集落跡と思われる場所を通る。鶏峠の下の「宿場」だった場所か。この先が橋。鉄パイプとアルミ足場板。十三時四十四分、鶏峠から五十六分だった。十三時四十六分、「登山道入口」着。舗装道路を歩いて降って、「登山道出口」へ。途中で振り返ると、山頂の反射板も見えた。登る時渡った橋も見えた。十四時三分、車を置いた「登山道出口」に戻った。帰日も県道二十九号経由、逢瀬公園で一休み。十五時五十六分二本松市役所に戻って解散。お疲れ様でした。



鶏峠案内板



山頂の2枚の反射板



巨大ブナと□□□さん

十一月四日 (金)

# 薬師尾根登山道整備

報告 編集部



14時25分、無事下山で記念写真

四日(金)、安達太良山薬師尾根で今年最後になる登山道整備作業を実施した。刈払機を使用するため、登山者の少ない、ロープウェイ運行最終日に近い平日に実施している。今年は紅葉シーズンが長引き、当日でも登山者は多かった。刈

払機や刈込線を見て、登山道整備活動に気付き、驚き、感謝する登山者も多かった。今年懸案だった、笹山下登山道への階段設置(今年三箇所、二〇一〇年に一個所(会報二六四号)や、八月三日の大雨による河川

の増水による橋の流出・土砂崩れ対策などあり、通算十二回の登山道整備を実施した。当日、事務局は、市役所職員二名と九月下旬に問い合わせのあった、「安達太良自然休養林における修繕箇所等の情報提供」について、修繕箇所を提示した地図を提供したが、その場所の内、「樹水坂」「笹山下」「八の字下」を同行して説明した。特に笹山下登山道の四箇所の階段について、設置場所の選定や、しっかりとした構造につき驚きを見せていた。笹山下登山道、葉っぱが全て落ちて、ナナカマドの赤だけが特に目立っていたが、尾根一面にナナカマドがあるのだ、山腹一面が真っ赤始めて見た。



阿部さん草刈作業中

午後二時二十五分には奥岳に全員下山、今年の登山道整備作業を無事に終えた。

午後二時二十五分には奥岳に全員下山、今年の登山道整備作業を無事に終えた。



灰皿撤去



ナナカマドの実

十一月三日 (水)

# 装備点検

報告 編集部



装備点検参加者

今年も十一月二十三日の勤労感謝の日に、装備点検。二〇一九年の装備点検迄は、その年の「山仕舞い」兼ねた懇親会も行われていた(会報三七四号)が、二〇二〇年は、新型コロナウイルスで、役員だけ

で実施(会報三八五号)、二〇二一年は役員だけではなく、今年も同様。来年からは「山仕舞い」兼ねた懇親会も是非復活させたい、ですよね!今年在庫整理も実施、



ザイルなど点検中



テントなど点検中

借りる人が殆ど(全く)いなくなった、以下の装備を廃棄としました。  
▼(古)テント三張、(古)ツェルト・簡易テント夫々一張。  
▼コップエル三個、コンロ・ランタン七個、  
▼二〇〇一年購入の旧式スニーカー六台。  
廃棄分は、今回参加した人が持ち帰ったものもあります。私(□□□)も、長年使用した、旧式のスニーカー(廿六)一台持ち帰りました。

十一月十八日 (金)  
**湯川溪谷登山道**  
**丸札道標外し**  
 報告 編集部



16時、塩沢登山口に無事下山、30枚全部下ろした

二本松市都市計画課と当会は、十八日(金)、安達太良山湯川溪谷登山道の丸札道標(サイン看板)取り外しと、冬季閉鎖処理を行った。

湯川溪谷登山道は、塩沢スキー場を入口とし、勢至平登山道のくるがね小屋下



くるがね小屋発、後列左端の職員が持っているのは、丸札入れ、大部分は彼がこの二つのザックに入れて下ろした。



12時53分、勢至平・塩沢別れ、閉鎖処理



13時10分、天狗の庭橋撤去

◆十一月も行事が沢山ありました。会報今月号、十一月の行事だけです。会員の皆さんの参加意欲、有り難うございます。十二月にも、来年にも行事沢山あります。奮ってご参加下さい。

◆今日は三十日、会報完成した。明日は十二月一日、例会の日。今日は暖かかったが来月からは寒くなるという予報、皆さんご自愛下さい。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記  
 四〇九号

今年、安達太良山の初冠雪は十六日だったが、登山道に雪は無く、安全に作業が行えた。この時期登山道の紅葉は全て落ち、ナナカマドの赤い実だけが目立つ。今年も雨が少なく、湯川溪谷の水量も極めて少ない。例年川幅一杯に流れ落ちて八幡滝も水量少なく幅が極端に狭かった。例



水量少ない八幡滝

去を行った。入口の塩沢スキー場出口の塩沢別れには、冬季閉鎖の旨の看板が設置された。来年四月下旬に、登山道点検が行われた後、閉鎖看板は撤去される。

年、丸札道標の二十六番以降はくるがね小屋に預かって貰っていたが、小屋改修の事情もあり、今年は三十枚全て、塩沢登山口を下ろした。

十一月二十七日 (日)  
**二本松市一周駅伝協力**  
 報告 事務局

二本松市は毎年、二本松市一周駅伝を開催している。安達ヶ原ふるさと村がスタート、旧岩代町、東和町、安達町を通り、霞ヶ城公園の城山総合体育館がゴール。主催は二本松市・教委・スポーツ協会、当会もスポーツ協会の一員であり、参加が求められている。

例年役員一名を参加させていた。今年も事務局が参加最終の第七中継所で、走路員を担当した。十一月二十七日(日)、暖かくて良い天気。役員の場合は九時四十五分。一位の選手通過は十時四十分。二本松ランニングクラブ、次は十時四十分。安達R.C.スぺシャル



一周駅伝、繰り上げスタート

十時五十分には、先頭通過から十分後で繰り上げスタートとなった。第七中継所は、十一時十二分には解散となった。